

## 5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

### [1] 都市福利施設の整備の必要性

#### (1) 現状分析

本市の中心市街地は、江戸時代の長岡城築城以来、行政の中核機能を担っており、市役所本庁舎も、明治39年の市制施行から約50年間の長きにわたり、中心市街地区域内の国漢学校跡地に置かれていた。また、大正7年には、当時全国で5指に入る図書館と評された互尊文庫が、野本恭八郎氏の寄附により開設された。大正15年に大野甚松氏から寄附された旧長岡市公会堂は、広く市民に親しまれ、様々な活動に利用されて大いに賑わい、旧長岡市厚生会館（現、アオーレ長岡所在地）に引き継がれた。

しかし、昭和の大合併に伴う庁舎の狭隘化等により、市役所本庁舎は昭和30年に表町地区（柳原町）に移転し、昭和52年には、中心市街地からさらに離れた千手地区（幸町）へ移転した。また、モータリゼーションの進展等を背景として、大型都市福利施設の郊外への展開が進んだ。さらに、昭和62年に市立中央図書館、平成元年に市民体育館、平成3年に長岡産業交流会館（ハイブ長岡）、平成8年に長岡リリックホールが郊外に新設されるなど、まちなかでは公共公益サービスの空洞化が進んでいった。

このような状況の中、中心市街地の構造を抜本的に見直すため、本市は平成15年に『長岡市中心市街地構造改革会議』を設置し、平成16年3月「長岡市中心市街地の構造改革に関する提言」を受けた。この提言では、今後の中心市街地の整備について「まちなか型公共サービスの展開」を掲げ、これまでアオーレ長岡の整備、大手通中央地区における2つの再開発事業によるまちなかキャンパス長岡やちびっこ広場の整備など、まちなかの都市福利機能の集積・回帰に取り組んできた。これにより、中心市街地は、市役所機能をはじめ多くの公共機能が集積され、幅広い世代が憩い、活動する「文化・情報・交流の場」へと質的に転換してきている。

その一方で、まちなかには、互尊文庫など老朽化が進む既存施設がみられるとともに、中心市街地に隣接する地区から3つの総合病院のうち、2つの病院が移転（1つの病院も郊外へ移転予定）するなど、健康・医療・福祉施設の利便性が低い状況にある。

#### (2) 都市福利施設の整備の必要性

- これまで取り組んできた「まちなか型公共サービス」の導入・展開の効果を活かしつつ、官民連携により、市民ニーズが高く、現在不足している「健康・医療・福祉」機能の導入を中心とした事業展開を図り、少子高齢社会に対応した仕組みを整備する必要がある。
- 互尊文庫など、老朽化した中心市街地の施設の更新を図り、来街者の目的に合わせた施設の整備が必要である。
- 旧長岡市厚生会館に代わり誕生したアオーレ長岡をはじめ、まちなかキャンパス長岡やちびっこ広場など、これまで整備してきた公共・公益施設については最大限に活用しながら、より一層の市民協働の推進と市民活動の活発化を通じて、「文化・情報・交流の場」として定着させる必要がある。

#### (3) フォローアップの考え方

事業の進捗状況について毎年度確認を行い、状況に応じて事業の進捗のための措置を講じる。

## [2] 具体的事業の内容

### (1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

### (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>●事業名 まちなか賑わい創出事業</p> <p>●内容 まちなか情報の発信と賑わいを創出するため、まちなか情報館「まちこい」の運営等を行う。</p> <p>●実施時期 平成 23 年度～</p>	N P O 法人ネットワーク・フェニックス	<p>官民連携によるまちづくりへの意識高揚を図り、中心市街地における市民活動等の活発化を図るため、まちなか情報館「まちこい」を運営し、情報発信活動を行う。</p> <p>まちなかの賑わいを創出し、市街地再開発事業の機運を高める本事業は、まちに来る人やまちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等と一体の効果促進事業）</p> <p>●実施時期 平成 23 年度～27 年度</p> <p>●支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>●実施時期 平成 28 年度～30 年度</p>	
<p>●事業名 大手通表町東地区交流拠点検討事業</p> <p>●内容 大手通表町東地区市街地再開発事業に導入する交流拠点施設等の事業化検討を行う。</p> <p>●実施時期 平成 28 年度～30 年度</p>	長岡市	<p>大手通表町東地区市街地再開発事業に導入する交流拠点施設等の事業化に向けた検討を行う。</p> <p>これまで中心市街地に不足していた福祉機能の強化を図る本事業は、まちに来る人やまちに住む人、まちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等と一体の効果促進事業）</p> <p>●実施時期 平成 28 年度～30 年度</p>	
<p>●事業名 多世代健康まちづくり事業</p>	長岡市	<p>官民連携による「健康」・「医療」・「福祉」事業の空き店舗を活用した社会実験等を行いながら、</p>	<p>●支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p>	

<p>●<b>内容</b> 官民連携による「健康」・「医療」・「福祉」事業の検討・構築や社会実験を行うことで、まちなかでの各種事業展開を図る。</p> <p>①多世代健康まちづくり拠点整備事業 ②健康づくりイベント事業</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 26 年度～30 年度</p>		<p>まちなかでの各種サービス・事業モデルを展開する。</p> <p>中心市街地に健康福祉施策を導入する本事業は、まちに来る人やまちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>ト事業（事業②）</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 26 年度～30 年度（事業②）</p>
<p>●<b>事業名</b> 長岡開府 400 年記念事業</p> <p>●<b>内容</b> 平成 30 年の長岡藩開府 400 年にあわせて、記念事業（ソフト事業：セレモニー、イベント等）を実施する。</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 29 年度～30 年度</p>	<p>開府 400 年実行委員会</p>	<p>平成 30 年の長岡藩開府 400 年にあわせて、記念事業（ソフト事業：セレモニー、イベント等）を実施する。</p> <p>中心市街地の賑わいを創出する本事業は、まちに来る人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●<b>支援措置</b> 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 29 年度～30 年度</p>
<p>●<b>事業名</b> ナカドマ活用事業</p> <p>●<b>内容</b> 一年間を通じて、中心市街地の賑わいを創出するため、ナカドマにおいて各種のイベント、市民活動等を実施する。</p> <p>①ドイツフェスト ②アロハフェスティバル ③高校生ラーメン選手権 ④秋まつり ⑤越後長岡酒の陣</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 24 年度～</p>	<p>長岡市</p>	<p>天候の影響を受けないナカドマの開放的な空間を活用し、「ハレ」のイベントから日常的な行事まで、様々な活動を展開することにより、賑わいの創出を図る。</p> <p>降雪量の多い本市にあつて、屋根付きの開放的な空間で一年を通じて様々な活動を展開する本事業は、まちに来る人やまちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●<b>支援措置</b> 中心市街地活性化ソフト事業（事業①～⑤）</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 26 年度～30 年度（事業①～⑤）</p>

<p>●<b>事業名</b> シティホールプラザ 「アオーレ長岡」運営 事業</p> <p>●<b>内容</b> 市民協働、交流の拠点 である「アオーレ長岡」 の貸館部分の管理運 営、市民が交流できる イベントの企画・実施 等についてのサポート を行う。</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 24 年度～</p>	<p>長岡市</p>	<p>市民協働、交流の拠点である 「アオーレ長岡」の貸館部分の管 理運営、市民が交流できるイベン トの企画・実施等についてのサポ ートを行うことで、利用者にとっ てより使い勝手の良い運営を目 指す。</p> <p>アオーレ長岡における交流イ ベントを実施し、利用者の利便性 を向上させる本事業は、まちに来 る人、まちを使う人を増やすこと を目標とする中心市街地の活性 化に必要な事業である。</p>	<p>●<b>支援措置</b> 中心市街地 活性化ソフ ト事業</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 26 年度 ～30 年度</p>
<p>●<b>事業名</b> 子育ての駅ちびっこ広 場駐車料金負担軽減事 業</p> <p>●<b>内容</b> 施設利用者の負担軽減 を図るため、駐車料金 の一部無料化を実施す る。</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 25 年度～</p>	<p>長岡市</p>	<p>施設利用者の負担軽減のため、 駐車料金の一部を無料とし、子育 ての駅ちびっこ広場の利便性を 高めることで、子育て支援の一層 の充実を図る。</p> <p>遊び場・保育・交流・相談・情 報提供機能を有した「子育て支援 施設」の利便性を向上させる本事 業は、まちに来る人やまちを使う 人、まちに住む人を増やすことを 目標とする中心市街地の活性化 に必要な事業である。</p>	<p>●<b>支援措置</b> 中心市街地 活性化ソフ ト事業</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 26 年度 ～30 年度</p>
<p>●<b>事業名</b> 市民活動フェスタの開 催</p> <p>●<b>内容</b> 市民活動の促進と活発 化を図るため、「市民活 動フェスタ」を開催す る。</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 18 年度～</p>	<p>市民活動 フェスタ 実行委員 会</p>	<p>「市民活動フェスタ」を開催す ることにより、中心市街地におけ る市民活動の促進と活発化を図 る。</p> <p>多くの市民が活動し、来街者の 増加に寄与する本事業は、まちに 来る人やまちを使う人を増やす ことを目標とする中心市街地の 活性化に必要な事業である。</p>	<p>●<b>支援措置</b> 中心市街地 活性化ソフ ト事業</p> <p>●<b>実施時期</b> 平成 26 年度 ～30 年度</p>
<p>●<b>事業名</b> まちなかキャンパス長 岡事業</p> <p>●<b>内容</b> 「学び」と「交流」を</p>	<p>まちなか キャンパ ス長岡</p>	<p>3 大学 1 高専と連携を図り、「学 び」と「交流」を通じた人づくり を進めるため、「まちなかカフ ェ」、「まちなか大学」、「米百俵塾」 等の講座を開催する。</p> <p>本事業は多くの市民がまちな</p>	<p>●<b>支援措置</b> 中心市街地 活性化ソフ ト事業</p> <p>●<b>実施時期</b></p>

通した人づくりを進めるため、「まちなかカフェ」、「まちなか大学」、「米百俵塾」等の講座を開催する。  ●実施時期 平成 23 年度～		かキャンパス長岡に集まり、交流することに寄与することから、まちに来る人、まちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。	平成 26 年度～30 年度	
●事業名 トモシア交流支援事業  ●内容 社会福祉センタートモシアで市民の交流の場を提供するとともに、ボランティア活動を支援し広く発信する。  ●実施時期 平成 28 年度～	長岡市	社会福祉センタートモシアで市民の交流・活動の場を提供するとともに、福祉ボランティアのマッチングをはじめ、分野や世代を超えた活動を広く支援し発信する。これまで中心市街地に不足していた福祉機能の強化を図る本事業は、まちに来る人やまちを使う人を増やすことを目的とする中心市街地の活性化に必要な事業である。	●支援措置 中心市街地活性化ソフト事業  ●実施時期 平成 29 年度～30 年度	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
●事業名 新・社会福祉センター整備事業  ●内容 大手通表町西地区において、福祉の交流拠点となる「新・社会福祉センター」を整備する。  ●実施時期 平成 26 年度～28 年度	長岡市	大手通表町西地区第一種市街地再開発事業により、「中央ボランティアセンター」、「地域包括支援センター」、「障害者基幹相談支援センター」など、市民協働による福祉の交流拠点の整備を図る。 これまで中心市街地に不足していた福祉機能の強化を図る本事業は、まちに来る人やまちに住む人、まちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化	●支援措置 社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等と一体の効果促進事業）  ●実施時期 平成 26 年度～27 年度	

		化に必要な事業である。		
--	--	-------------	--	--

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>●事業名 子育ての駅ちびっこ広場・まちなか保育園の運営</p> <p>●内容 まちなかでの子育てを支援するため、ちびっこ広場及びまちなか保育園を運営する。</p> <p>●実施時期 平成 13 年度～</p>	長岡市	<p>まちなかでの子育てを支援するため、ちびっこ広場及びまちなか保育園を運営する。</p> <p>遊び場・保育・交流・相談・情報提供機能を有した「子育て支援施設」として運営する本事業は、まちに来る人やまちに住む人、まちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>●事業名 ながおか市民センター運営事業</p> <p>●内容 来街者の利便性向上を図るため、行政機関や会議室等を有する「ながおか市民センター」を運営する。</p> <p>●実施時期 平成 13 年度～</p>	長岡市	<p>「ながおか市民センター」において、効率的なまちなかでの施設運営を行うことにより、来街者の利便性を高める。</p> <p>市民のニーズに合った施設を運営する本事業は、まちに来る人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>●事業名 市民活動推進事業費補助金</p> <p>●内容 市民力、地域力による様々な市民活動を促進するため、その活動に対し、市が補助金を交付する。</p>	長岡市	<p>市民力、地域力によるまちづくりを推進するため、様々な市民活動に対する補助金を交付する。</p> <p>市民活動の推進に寄与する本事業は、まちに来る人、まちを使う人を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		

<p>●実施時期 平成 25 年度～</p>				
<p>●事業名 市民協働人材発掘・育成事業</p> <p>●内容 市民協働を推進するため、各種講座や交流会を開催・運営する。</p> <p>●実施時期 平成 24 年度～</p>	<p>N P O 法人市民協働ネットワーク長岡</p>	<p>市民協働を推進し、各種講座や交流会を開催することにより、中心市街地における市民活動等を担っていく新たな人材の発掘・育成を図る。</p> <p>市民活動の推進に寄与する本事業は、まちに来る人やまちを使う人を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>●事業名 中越防災安全推進事業</p> <p>●内容 中越大震災を風化させず、次世代へ継承するため、震災 10 周年記念事業や各種防災研修講座等を実施する。</p> <p>●実施時期 平成 22 年度～</p>	<p>中越防災安全推進機構</p>	<p>中越大震災を風化させず、次世代へ継承するため、震災 10 周年記念事業や各種防災研修講座等を実施する。</p> <p>市民が、防災について考える機会として、また学会開催等により市外からの来街者が増える本事業は、まちに来る人やまちを使う人を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		